

3密をどう解消するのか 学校での新しい日常を作る

越教組ニュース

越谷市教職員組合



分散登校が始まり、子どもたちの笑顔が見られる活気のある学校に戻りつつあるようです。そんな中、午前午後の分散にしたらずとなく一日が途切れなく忙しい。少人数学級での授業だから集中しやすい・学習効果が上がると。出張が少なくて、学校が落ち着いているなどの声が聞かれます。ここでは、現在の勤務問題、これから通常登校に向かうにあたって、組合の考えを述べたいと思います。

分散登校の勤務時間

【朝の健康観察】

市教委は児童生徒の登校時に健康観察カードでの健康チェックを指示しています。そうすると決められた勤務開始時刻よりも早く勤務を開始しなければならぬ教員が多くなります。もちろんほとんどの校長は、勤務時間の調整を指示しています。調整は、原則一時

間、事情によって〇・五時間での扱いが可能となっています。もし35分の必要時間の指示が必要になるといふことです。調整は16週以内でとらなければならぬことになっていて、忘れないでとるようにしてもらいましょう。

【休憩時間】

分散登校により、予定した時間に休憩が取れなくなっている学校があります。実態としては、休憩時間を知らないで働いている教員がいたり、勤務時間を教職員に明示していない学校があったりします。こんなことは民間ではありえないことです。休憩時間を与えなかった場合、労働基準法一一九条により、雇用主には6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金が科せられる可能性があります。もちろん取れないことが分かっているのに、形の上だ

【越教組が市教委に要望】

【衛生に係る器具・消耗品の配布を】

- 非接触型体温測定器
- マスク
- 消毒液

【学習支援・業務支援等の増員を】

- 学習支援のための支援員
- 児童生徒の心のケアのためのスタッフの増員
- 印刷や消毒、トイレ掃除など、業務支援スタッフ

【行事・出張等の削減を】

- できる限り本来の授業時間を確保できるように、市内全体で取り組むような行事や出張等の大幅な削減を

3密を避けるために

【教員10万人増を】

学校再開に向け一番難しいのが3密を避けることです。越谷市だけでは解決できない難しい問題です。この問題については、日本教育学会が提言を出しています。その内



政府の第2次補正予算では
○学習指導員の追加配置
全国で61200人(国の補助1/3)
○スクールサポートスタッフ
全国で25200人(国の補助1/3)
○コロナ対策支援経費(補助1/2)
メニューは選択・校長判断で
1校当たり100万~300万円程度

容は、小中高で10万人の教職員増です。学校での感染拡大防止として政府が求めている2mの間隔を取るためには一クラス20人程度にしなければなりません。教員を10万程度増やし、全国

の多人数のクラスに配置すれば、全国的には20人程度の授業が可能になるというものです。さらに場所の確保ということ、プレハブの増築や公共施設の利用なども必要になってくるでしょう。

10万人の教職員増は、日本の学校が少人数学級に移行するうえでのしっかりとした土台になります。このコロナ問題を機会に、日本に少人数学級を実現させようではありませんか。

近隣市町の学校再開後の対応

吉川教組調べ

	登校	土曜授業	給食開始	通常登校	夏季休業日
越谷市	分散 6月26日まで 午前・午後または全日の隔日	原則なし	6月1日~	6月29日~	8月1日~8月23日 23日間
春日部市	分散 6月5日まで 8日~12日 全日の隔日	6月~7月: 4回 (午前) 9月~12月: 7回 (弁当持参)	6月9日~	6月15日~	8月1日~8月20日 20日間
三郷市	分散 6月12日まで 13日は半日で全員登校	6月~8月: 6日間 隔週3校時	6月3日~	6月15日~	8月1日~8月20日 20日間
吉川市	分散 3校時 6月13日まで	6月~12月: 9日間 弁当持参	6月15日~	6月15日~	7月23日~8月16日 25日間
八潮市	通常登校 6月1日 3校時 6月2日~6月4日 4校時	原則なし	6月2日~	6月8日~	8月8日~8月17日 10日間
松伏町	分散 6月3日~12日 4校時 中3は通常登校	9月~12月: 月2回 4校時 給食なし	6月3日~	6月15日~	8月1日~8月23日 23日間
さいたま市	分散 6月12日まで 午前・午後		6月1日~	6月15日~	8月1日~8月16日 16日間